

平成26年2月6日

平成25年度 第三回 学校運営連絡協議会 議事録

1. 日時：平成26年2月6日 午後3時45分～午後5時00分
2. 場所：杉並総合高等学校 会議室
3. 出席者（敬称略）：

|               |    |
|---------------|----|
| 全国総合学科校長会 顧問  | A氏 |
| 高井戸中学校校長      | B氏 |
| 教育新聞社         | C氏 |
| 上町親交会長        | D氏 |
| 浜田山商店街会長      | E氏 |
| 元永福高等学校 PTA会長 | F氏 |
| PTA会長         | H氏 |
| PTA副会長        | I氏 |
| 前PTA会長        | G氏 |
| 学校出席者 校長      |    |
| 副校長           |    |
| 教務主任          |    |
| 生活指導部主任       |    |
| 生活指導副主任       |    |
| 進路相談部         |    |
| 総務部主任         |    |

4. 議事

- (1) 学校長挨拶（別掲）
- (2) 教育活動報告

1. 副校長報告

私からは三つの推進校事業の報告をさせて戴きます。

- 1) 防災教育推進校については、2月3日～4日に笹塚の消防学校で1泊2日の訓練を実施した。200名の生徒が上級救命士の資格を取得した。消防士と一緒に活動できたことも良かった。又、去る12月22日には都庁で高校生による防災サミットが開催され、生徒一名がパネラーとして参加、もう一名が展示場の掲示等の応援に参加した。
- 2) ICT活用推進事業については、学習コンテンツの応募で本校は27作品を応募。推進校12校中一位だったが、その後、一人で10のコンテンツを出した学校があって2位になった。只、応募教員数は私も含めて17名で一位だった。ITCパソコンを使用した授業を展開する教員数も19名になっている。

11月18日、19日のITCフォーラムでは、18日に本校情報科の高橋正憲教諭が20分間の模擬授業を行ったほか、19日は本校生徒が国際交流受け入れ報告を英語で行なった。2日間に2つの発表を行なった学校は2校のみで、模擬授業と生徒発表という異なる内容のものを発表したのは本校だけでした。

3) 理数教育チャレンジ団体については、2月11日に本校を会場にして発表会が開催される。本校と富士、戸山、府中東が発表するほか、17校が模造紙で展示を行う。

3つの指定校となって、都の種々の政策に花を咲かせるのは現場の生徒であることを実感致した。この他、新規採用教員の採用前研修、若手教員のための学校経営セミナーを本校で開催し、学校経営セミナーでは本校校長が講師と務めた。

東京都から頼られる学校になってきたと思う。

## 2. 教務部関係報告 教務部主任

(レジュメに沿って報告)

### 1. 入学選抜について

今日、学力選抜の一日目で228名の応募があった。明日も受付があり、この後、取り下げ、再提出となる。中進対の予想（これは中学生の第一次志望の数字である）が今回、減っていたので、今日の募集人数を見てほっとしている。

昨年は最終的に252名の募集があった。昨年並みになってきているのかなと思う。推薦選抜は男子8名、女子64名、計72名が合格し、昨年と同じである。中進対の数字が下がっていることから次年度の募集対策は考える必要がある。

### 2. 学力スタンダード

平成26年度から全都立高校で実施される。これは今までの学力向上推進プランを引き継いだ形で、各校がここまで学力をつけさせたいという目標を設定するものである。来年の2月に学力調査を行い、目標に到達していない生徒には補習を行なうことになる。今年度中にスタンダードを作成するので2月以降はその作業に入る。

### 3. 新教科について

まだ、教科の名前は決まっていないが「道徳・奉仕」（仮称）という名前で先行実施されてきたもので、「奉仕」の授業を発展させたものになる。体験活動をより重視したものである。

### 4. その他

11月23日に東京外国語大学の外国語祭を7名の生徒が見学した。

12月13日にマレーシアの生徒が一日来校した。

## 3 生活指導部関係報告 生活指導部主任

### 1. 今年度のPDCA

遅刻数の減少については、全体では昨年並みであるが、学年によっては増えており更に引き締めたい。非公式サイトへの書き込みについては、9名の生徒が杉総

の名前を載せて投稿したので指導した。特に悪さをしたということではない。

2. 頭髪指導については落ち着いている。改善率91%で、直していない生徒が数名いる状況である。
3. 服装指導については、制服をきちんと着る指導を行なっている。
4. 平成25年度のすべての行事は終了している。セーフティ教室のアンケートでは今後、どのような内容のセーフティ教室を希望しますかという問いに対し、「不審者対応」が一番多く、生徒が切実に不審者への対応を考えていることがわかったので、次年度はそのような内容の教室を検討したい。

全体としては、大きな案件もなく、生徒は安心、安全な学校生活を送れているのかと思う。

#### 4. 保健室の利用状況について 生活指導部副主任

4月～1月の累計利用者が935人と、前年比半減している。(前年1786人)。利用者の多かった7期生が卒業し、8期生、9期生とも300人強、10期生は更に少なく237人である。利用するのが悪いわけではないが全体として健康状況がよくなってきていると言えるのではないかと。尚、日本スポーツ振興センターに報告する怪我の数は増加している。

#### 5. 進路相談部関係報告 進路相談部主任

全体として、3年生にチャレンジさせきれなかったということと、もっと2年生に目を向けないといけないと考えている。

##### 1. 8期生の進路状況

推薦の結果しか出ていないが、公募推薦が減り、AO、指定校推薦が増加している。言い換えれば、チャレンジしていない、安全圏で決めていることが伺える。又、東京学芸大や明治大などの高い目標をクリアしている生徒もいない。

##### 2. 2年生

- ・ 夏季講習等の受講者数が頭打ちとなっている。2年生が参加していない。部活動が忙しいし、教員も仕方ないと考えている。
- ・ 春季講習は数がものすごく増えている。生徒は新年度に向けてモチベーションの上がる時期であり、呼びかけてもっと参加させたい。

##### 3. 教員への働きかけ

若い教員が増えており、データに基づいて進路指導ができるように講習会を開いている。

4. 自宅での自発的な学習については、学習ガイダンスは継続しているが、サクセス手帳はうまくいかなかった。今年度から2月に模擬試験を実施する。しっかり学習するきっかけとなるように、全生徒が対象である。

5. 総合的な学習の時間については、課題研究が、コミュニケーション能力や、自分で興味のあることを調べる等、年々よい状況になってきている。

ポイント制を導入したことで生徒の視野を広げることになり、お仕着せでない奉仕活動が出来たと考えている。夏休みに小学生と算数の問題を解く等活動分野、提携先も広がってきた。

6. 来年度の取り組みとしては、教科への働きかけと教科間の連携を課題としたい。

5. 総務部関係 総務部主任

1. 12月の学校評価については後ほど報告する。

2. 今週の2月3日、4日に防災教育推進校として、1年生が消防学校で1泊2日の訓練を受けてきた。200名の生徒が上級救命士の資格を取得した。

3. 学校説明会の来場者数は昨年比で多少増えたが、1月の来場者数は減少した。

4. 3月8日(土)に卒業式を行なうので追って案内状を送付します。

6. 学校評価結果(別掲)

7. 質疑・意見交換

A氏:

学校評価の調査はご苦労様でした。又、各分掌からの報告ありがとうございました。入学選抜については、中進対の倍率は当事者にとっては本当に気になるところである。前年より増えなかったということであるが、私から見ると波はあるもので左程心配することでもない。学校評価では生徒、教員、保護者とも、生徒の様子が良いと言う。これさえあれば心配することはない。教員はそのことのためにサービスを提供しているのであり、その上に学力を伸ばす、進路を決める、があるのだから。2年間、お世話になりました。この間の皆さんの活躍ぶりに感服している。特に発信。都立校のなかでもHPの更新の速さは際立っている。これからも上下動はあるだろうが、この学校は伸びていくと思う。

12月の総合学科学習成果発表会は先生方の指導が良かったのだろうが、非常に"impressive"であった。総合学科10校がここまでできたかと感慨深いものがあつた。学力スタンダードについては、着実に取り組むことになると思うが、これは教える側の考えである。教わる側はどうするのか、総合学科という仕組みが生まれたのは学ぶ生徒の動機、メンタリティー、勉強してどうなるのよという中堅校の悩みがきっかけになっている。生徒の学ぶ意欲を高める仕組みとして生まれたのが総合学科である。都立校の取り組む学力スタンダードは、生徒の立場で何の意味があるのか、ひとつでもふたつでもアイデアが出せると施策として意味がある。勉強して金持ちになって何になるの、会社に入れるのかと言ったレベルの考えをどう学ぶ意欲に変えるのか。学力スタンダードに総合学科の仕組みが、たいへん有効であると考えている。今は踊り場である。学校評価でも教員は97%が経営計画に基づいた教育活動に参加できていると答え、78%がチームワークよく活動していると答えている。これだけの意識があれば大丈夫である。

B氏: 毎回、参加させていただき感じているのは、それぞれの先生が学校を良くしていこ

う、この学校の生徒のレベルを上げようという意欲を強く感じさせることである。外から見ていて、特に中学校の立場から見ると、生徒が杉総のことを今まで以上によく理解して進路選択するようになってきている。先生方の考えが外に広まってきている証拠である。入選の倍率はともかくとして、「仕方なく杉総」ではなく、こういうことを学びたいから杉総という中学生が増えている。

前回も話したが、保健室の利用状況が前年比激減していることは、体調不良、怪我が減っているということで心の安定、安心して学校生活を送れていることのパロメーターであると思う。杉総の先生方のワンランク上の学校にしようという取り組みに期待している。

これが最後になるが中学校との交流、地域に信頼される学校に発展して貰いたい。杉並区の来年度予算では、区内の都立学校との連携を揚げており、都立学校と包括協定を締結するとのことである。高井戸中と杉総は既にその先鞭をきってやってきたと考えている。

(校長：包括協定は学校の判断で締結してよいとの学校経営支援センターの了解を得ている。又、次年度は杉並区教育委員会から学運協委員を出して戴くようにお願いしており、快諾を得ている。)

C氏：いつもすごいなあと思いながら参加させてもらってきた。数値目標を追う、学力スタンダード、新教科、皆さんたいへんであるが、これだけのことをやり続けるモチベーションを知りたいくらいである。

サクセス手帳はなぜうまく行かなかったのか。

(進路相談部主任：全員に持たせて、一日の学習目標とその結果を書かせようと始めたが、女子は自分のかわいい手帳を持っている。はじめは頑張るが書きすぎて疲れる、担任が見るので嘘を書く、2学期始めは担任が忙しく見る時間がない、すると生徒ががっかりする等で、それでもごり押しして続けようと考えていたが、担任団が自分たちでいろいろ考えているので「勇気ある撤退」を決断した。)

アンケートのなかの、「本校の変えたほうがよい点」などは生徒に対する武器に使えるのではないかと思う。

本当に勉強になりました。ありがとうございました。

D氏：この学校は知名度がなさ過ぎる。桜水商業は知っているが杉総を知らない人が多い。学運協委員として携わっているとこの学校がかわいいと思う。知名度を上げる方法を我々も含め考える必要がある。又、この学校の生徒は勉強しなさ過ぎである。教科書を開いて歩いている生徒を見たことがない。生き方、態度が少し乱れている。もっと勉強させないと大人になって後悔する。もう少し勉強させるよう先生も頑張ってもらいたい。

E氏：うちの店には杉総のパンフレットをおいている。時々もらっていく人がいる。

アンケートの地域の提出率が30%ということだが商店街にも配って欲しい。20軒程度なら回答させられる。

F氏：10年間、学運協の委員として世話になった。資料づくりも含めて本当にご苦労様です。杉総もようやく10年になった。これからもっとPRして欲しい。前回も言ったが、上北門の掲示板は淋しい。もっと地域に呼びかけるようにすべきである。

G氏：3年間、学運協に出席させてもらい、たいへん勉強になった。杉並区立松溪中学校の学校支援本部の関わっているが、杉総のよい評判を聞く。偏差値であきらめる子もいる。出願者数が減ったのは引いた子がいたのではないか。

今年の卒業式ではパーマをかけている子がいっぱいいた。パーマはいいのか。

(生活指導部主任：私がこの学校に来た頃は今より茶髪、パーマが多かった。大分落ち着いてきた。何人か、茶髪だと直させられるのでパーマをする生徒がいる。今、指導をどうするか検討中である。)

子供の親から進学コースを作って欲しいとの意見があるが可能性はあるか。

(教務部主任：出来ないことはないが、進学を目指す生徒を集めることには教員のなかにも意見はいろいろあると思う。進学コースを作るデメリットもあるので、学校全体で盛り上げていくというのがあるべき方向ではないかと考えている。)

H氏：うちの子はAOで一番行きたい学校に入ることが出来た。3年間ぶれずに高校生活を送れたが、なかには気持ちの変わる生徒もいる。それを伝えられない。保護者会に出ている保護者は男子の保護者ばかりである。

学校の変えたほうがよい点で一番変えていただきたいのは暑さ、寒さ対策である。

朝の初めの20分間、寒くて授業に集中できないと言っていた。もう少しフレキシブルに対応して欲しい。寒い、暑い、を3年間、子供から聞かされたように思う。

PTAは活発ではない。学校に来る保護者はこれからも減少していくと思う。

この学校に来てよかったと娘も私も考えている。10周年に立ち会えたことは記念になった。

I氏：学校評価アンケートで入学してよかった、楽しいと答える生徒が多いのは親として安心している。総合学科でクラスのまとまりがないかと思うと、行事で結団力が出てすごいなあと思う。娘はまだ受検で沖田先生、繁田先生の世話になっているが、先生方にはよくしていただいて感謝しております。

以上